

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 桑名歴史公園地区

平成23年3月

三重県桑名市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県	市町村名	桑名市	地区名	桑名歴史公園地区			面積	876ha				
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	8,056	国費率	0.423						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(市民会館耐震化、市営末広駐車場整備)、高質空間形成施設(七里の渡周辺整備事業、伊賀町水路改修、中央紺屋線整備、市民会館バリアフリー化)、高次都市施設(インフォメーション施設、市民会館交流施設)、桑名駅西土地区画整理事業										
		提案事業	九華公園整備方針検討										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(春日雨線外整備、三之丸外堀線外整備、桑名駅交通拠点広場外整備、電線類地中化)、地域生活基盤施設(市民会館駐車場整備)、桑名駅東第2土地区画整理事業	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	市民会館リニューアル	地域生活基盤施設「市民会館耐震化」に統合したため削除			影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路((都)江場安永線)、高次都市施設(城東公民館整備、漁業観光学習交流センター施設整備)	まちづくり目標達成の確度を高めるため追加			道路:観光駐車場利用者数に関連するが、数値目標は据え置く 高次都市:観光駐車場利用者数に関連するが、数値目標は据え置く						
		提案事業	密集市街地防災まちづくり支援、東部子育て支援拠点整備事業、桑名市体育館耐震改修事業、視覚障害者誘導用ブロック改良事業、交差点改良事業、諸戸徳成邸文化財保存方策検討事業、桑名歴史公園地区まちづくり検討	まちづくり目標達成の確度を高めるため追加			密集市街地:観光駐車場利用者数に関連するが、数値目標は据え置く 東部子育て、文化財保存:桑名駅利用者数に関連するが、数値目標は据え置く 体育館、視覚障害者ブロック、交差点改良:市民会館利用回数関連するが、数値目標は据え置く、まちづくり検討:影響なし						
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	桑名駅利用者数の増加	人	6,486,584	H16	6,500,000	H22	6,500,000	6,579,000	○	あり なし	子育て支援施設の整備、観光資源の整備等により交通・交流機能が高まった	平成25年3月
	指標2	市民会館利用回数の増加	回	3,175	H16	3,300	H22	3,300	5,830	○	あり なし	市民会館整備により、様々なイベントや交流活動の開催が可能となり、桑名市民の交流促進に大きく貢献した	平成24年4月
	指標3	六華苑利用者数の増加	人	38,643	H16	42,000	H22	42,000	48,040	○	あり なし	本市固有の観光資源の魅力向上事業の相乗効果により、観光施設の来訪者数が増加した	平成24年4月
	指標4	観光駐車場利用者数の増加	台	18,141	H16	20,000	H22	20,000	22,420	○	あり なし	本事業による拠点形成・回遊性の強化、市民交流の促進に加え、外的要因として指定管理者による無料期間の設定があり駐車場利用者数が増加した	平成24年4月
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	「歴史の案内人」年間利用者数	人	5,004	H17	/	-	7,900	/	/	観光資源の魅力の向上と回遊性の向上等により集客力が向上し、歴史の案内人の利用者数が増加した	平成24年4月	
													その他の数値指標2
	その他の数値指標3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
4)定性的な効果発現状況	<p>・観光資源の魅力向上等により、地域において観光客をもてなす意識づくりが進みつつある。</p> <p>・都市再生整備計画における各事業により、市民の一体感の醸成が図られ、地域交流が盛んになった。</p> <p>・漁業観光学習交流センターに社会見学で訪れた子どもが家族連れで再来訪されたり、また、県外からの来訪者もあり、使用状況は従前より飛躍的に変化している。</p> <p>・インフォメーション施設・七里の渡周辺整備等による相乗効果により、観光案内の充実が図られ、また、東海道を散策される方も増えた。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	中間年次となる平成20年度に、成果の評価、実施過程の評価、効果発現要因の整理等に関する中間評価を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 中間評価により目標達成状況が確認でき、事業進捗管理に役立つため、次期計画においてもモニタリングを実施していく						
	住民参加プロセス	九華公園再整備に当たり、専門家や地域住民を交えた委員会を設置し、九華公園の整備方針を策定		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 地域の観光資源の活性化計画の立案に際しては、今後も地域住民の意見反映の機会を設ける						
持続的なまちづくり体制の構築	提案事業として「桑名駅歴史公園地区まちづくり検討事業」を実施。その中で庁内関係による「桑名歴史公園地区まちづくり推進会議」を設置し、計画にもとづく事業を確実に実施するための体制を構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 地域住民の参画による継続的なまちづくりを推進するためにまちづくり協議会の設置を検討する(桑名駅西土地区画整理事業についてはまちづくり協議会を設置済み)							

